



平成28年：4月号

発行日：平成28年4月14日

生和糖業株式会社

発行・編集：業務部原料課

製糖期を終えて

生和糖業株式会社 喜界工場  
取締役工場長 菅 靖 治

昨年12月15日に開始した今期の製糖も、3月30日に無事終了いたしました。100日あまりの長い操業でしたが、みなさま大変お疲れ様でした。

今期は、昨年春以降冷害も無く台風も運よく接近せず、きびの成長は生育初期・中期とも順調でした。製糖開始間際に一部でワタアブラムシの発生が見られましたが大きな影響は無く、開始時点の平均糖度も13.50に達し、好スタートを切りました。

1月6日の操業再開後、きび糖度も早々に14度台に上がり、全体量も8万トンを超える予想でした。しかし、その後3月中旬まで多雨が続き、糖度も頭打ちとなり、刈り取り搬入にも大変ご苦労されたことと思います。

きび全体の反収は5,614kg(春植5,467kg、夏植6,735kg、秋植6,356kg、株出5,267kg)で、買入平均糖度14.10でした。基準糖度以上が87.7%となり、基準糖度未満が12.3%に留まり、品質は過去5年の平均とほぼ同じでした。

きび搬入量は予想より9,000トンほど少なくなり、73,822トンとなりました。前期を1万トン近く上回り、過去5年平均69,392トンに対しては4,430トン上回りました。来期へむけて予想量の正確度を上げることが大きな課題となっています。なお工場では安定操業に努め8,992トンの砂糖を生産する事が出来ました。

多雨による天候不順の中で、まずまずの成績を収める事が出来たのは、生産農家はじめ、ハーベスタ事業者、運送会社、農協、町役場他、関係者の皆様のおかげであり、厚くお礼申し上げます。

来期の更なる増産に向け、関係各位のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。長雨の影響で、春植・株出管理が遅れているようですので、天気の回復を見ながら、頑張って適宜作業の程、取り組みいただきます様よろしくお願いいたします。

◆◆◆ 収穫面積・生産量の推移(年度別) ◆◆◆

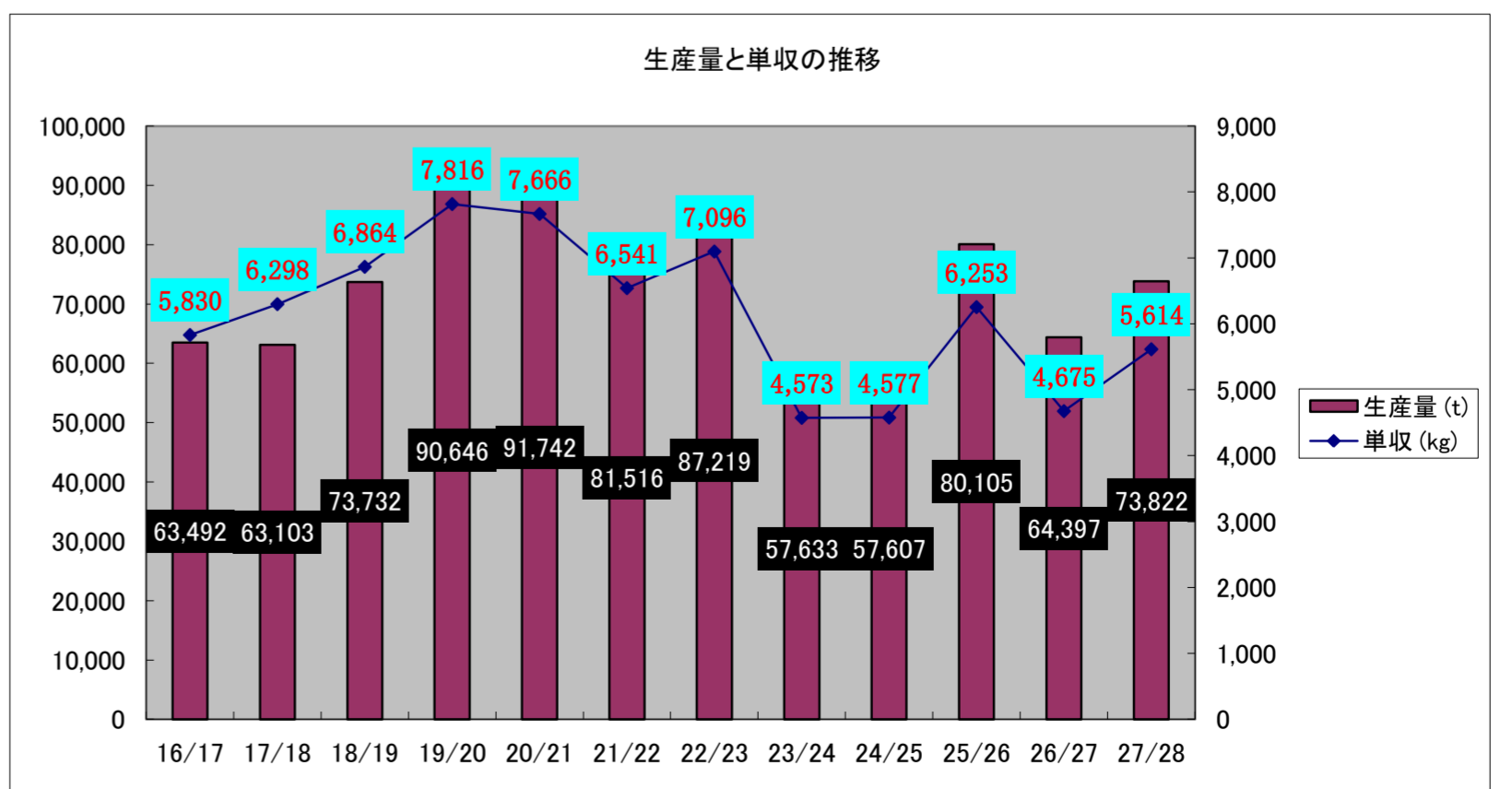
作型 年度	夏 植			秋 植			春 植			株 出			合 計		
	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量
	(a)	(kg/10a)	(t)	(a)	(kg/10a)	(t)	(a)	(kg/10a)	(t)	(a)	(kg/10a)	(t)	(a)	(kg/10a)	(t)
H27/28年度(今期)	21,226	6,735	14,295	10,312	6,356	6,554	16,258	5,467	8,889	83,702	5,267	44,084	131,498	5,614	73,822
H26/27年度(前期)	26,829	6,349	17,034	12,854	5,532	7,111	15,082	3,777	5,695	82,972	4,165	34,557	137,737	4,675	64,397
増減(前年比較)	- 5,603	386	- 2,739	- 2,542	824	- 557	1,176	1,690	3,194	730	1,102	9,527	- 6,239	939	9,425
H25/26年度	27,358	7,598	20,785	13,495	7,364	9,937	13,240	5,744	7,605	74,005	5,645	41,778	128,098	6,253	80,105
H24/25年度	27,619	5,724	15,809	11,529	5,468	6,303	13,836	3,737	5,171	72,881	4,161	30,324	125,865	4,577	57,607

◆◆◆ 買入糖度・買入価格・トラッシュ率・工場歩留の推移 ◆◆◆

項目 年度	平均買入糖度 (%)	買入糖度帯(%)			平均買入価格 (交付金込) (円)	対前 年比 (%)	トラッシュ率 (%)	工場歩留 (%)
		基準以下 (13.0以下)	基準内 (13.1~14.3)	基準以上 (14.4以上)				
		H27/28年度	14.10	12.30				
H26/27年度	13.43	35.80	44.00	20.20	21,500	96.89	8.32	11.85
H25/26年度	14.37	9.50	38.30	52.20	22,191	104.05	9.20	12.58

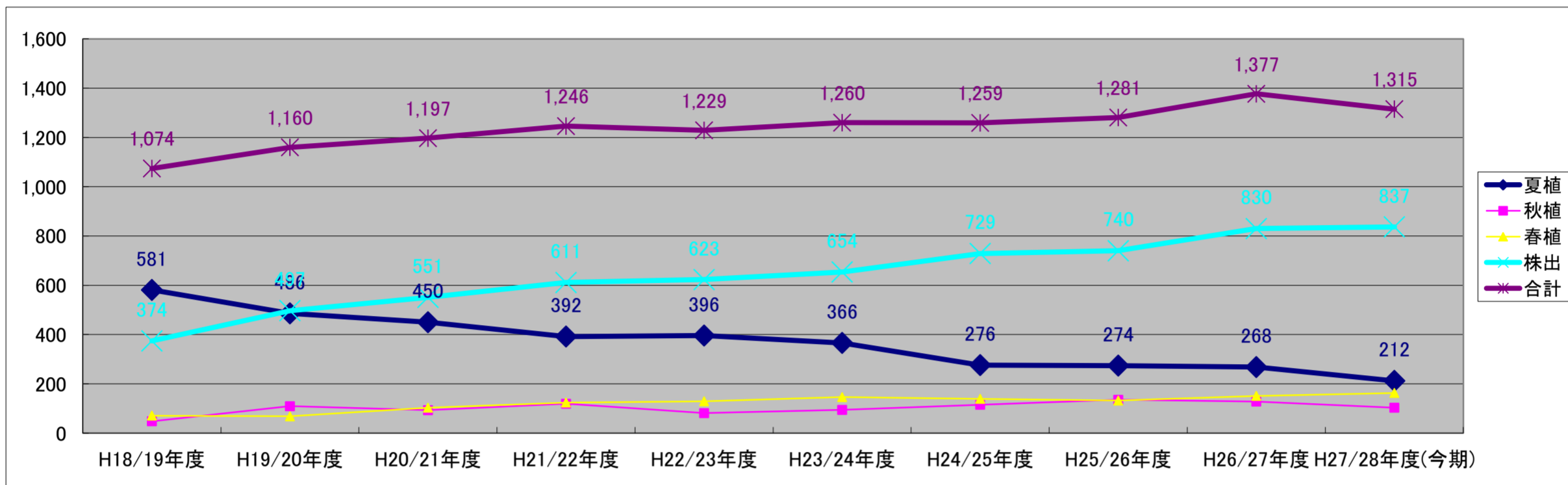
◆◆◆ 年度別さとうきび生産実績の推移 ◆◆◆

期	年度	農家 戸数 (戸)	生 産 実 績			
			収穫面積 (ha)	平均単収 (kg)	圧搾量 (t)	甘蔗糖度 (%)
46期	16/17	838	1,089	5,830	63,492	12.10
47期	17/18	783	1,002	6,298	63,103	14.10
48期	18/19	744	1,074	6,864	73,732	14.77
49期	19/20	728	1,160	7,816	90,646	14.60
50期	20/21	686	1,197	7,666	91,742	15.19
51期	21/22	674	1,246	6,541	81,516	14.47
52期	22/23	666	1,229	7,096	87,219	14.34
53期	23/24	667	1,260	4,573	57,633	13.93
54期	24/25	662	1,259	4,577	57,607	13.98
55期	25/26	657	1,281	6,253	80,105	14.37
56期	26/27	645	1,377	4,675	64,397	13.43
57期	27/28	624	1,315	5,614	73,822	14.10



栽培型の推移

作型 年度	夏 植			秋 植			春 植			株 出			合 計	
	面積 (ha)	率 (%)	単収 (kg/10a)	面積 (ha)	率 (%)	単収 (kg/10a)	面積 (ha)	率 (%)	単収 (kg/10a)	面積 (ha)	率 (%)	単収 (kg/10a)	面積 (ha)	単収 (kg/10a)
H18/19年度	581	54.1	7,789	48	4.5	6,268	71	6.6	5,637	374	34.8	5,739	1,074	6,864
H19/20年度	486	41.9	9,646	109	9.4	7,702	68	5.9	6,425	497	42.8	6,241	1,160	7,816
H20/21年度	450	37.6	8,993	93	7.8	8,144	103	8.6	6,521	551	46.0	6,716	1,197	7,666
H21/22年度	392	31.5	8,647	119	9.6	7,306	124	10.0	5,160	611	49.0	5,302	1,246	6,541
H22/23年度	396	32.2	8,432	81	6.6	8,318	129	10.5	6,387	623	50.7	6,236	1,229	7,096
H23/24年度	366	29.0	5,462	94	7.5	4,908	146	11.6	4,443	654	51.9	4,057	1,260	4,573
H24/25年度	276	21.9	5,724	115	9.1	5,468	139	11.0	3,737	729	57.9	4,161	1,259	4,577
H25/26年度	274	21.4	7,598	135	10.5	7,364	132	10.3	5,744	740	57.8	5,645	1,281	6,253
H26/27年度	268	19.5	6,349	128	9.3	5,532	151	11.0	3,777	830	60.3	4,165	1,377	4,675
H27/28年度(今期)	212	16.1	6,735	103	7.8	6,356	163	12.4	5,467	837	63.7	5,267	1,315	5,614



農林27号 (Ni 27) について

平成21年、沖縄県先島地域を普及対象として品種登録された農林27号 (Ni27)が、今年2月大島地域でも普及対象品種となりました。喜界島における今年度までの生育試験では全作型で多収、糖度は農林8号並み～やや良いという結果で、台風折損もあまり発生しませんでした。近年、株出面積の増加により収穫面積は拡大していますが、強害雑草の繁茂、病害虫被害、干ばつや台風、土壌の減退などの影響で単収や生産量がなかなか増加しない状況が続いており、夏植、春植で特に力を発揮する農林27号に期待を寄せています。

農林27号の特徴

- ・茎は黄色～黄緑色で、NiF8よりも太く多収。品質も良い。
- ・分けつや萌芽力はNiF8に劣るが、葉焼病やサビに対して耐病性がある。  
(黒穂病耐性は中程度なので、黒穂病多発地域では注意しましょう)
- ・生育初期の台風に弱く、遅い春植では折損が多発するので3月迄には植付けましょう。  
(台風折損の少ないのは NiF8 → Ni27 → Ni23 の順)

喜界島における品種試験成績

作型	年度	品種名	茎数 (本/10a)	折損率 (%)	茎径 (mm)	単収 (kg/10a)	比率 (%)	1本重 (kg)	糖度 (%)	比率 (%)
夏植	H27/28	NiF 8	927	1.5	22.4	1,047		1,129	16.1	
		Ni 23	1,194	2.8	20.2	1,167	111.5	977	15.0	93.2
		Ni 27	997	0.3	23.1	1,248	119.2	1,252	16.7	103.7
	H26/27	NiF 8	889	7.6	19.9	816		918	14.3	
		Ni 23	979	6.8	21.1	841	103.1	859	14.0	97.9
		Ni 27	951	3.5	21.6	1,001	122.7	1,053	15.2	106.3
春植	H27/28	NiF 8	753	3.1	22.8	792		1,052	16.0	
		Ni 23	682	16.5	22.2	714	90.2	1,047	15.3	95.6
		Ni 27	781	1.1	24.2	932	117.7	1,193	15.7	98.1
	H26/27	NiF 8	771	0.9	22.2	584		757	14.2	
		Ni 23	837	2.8	20.9	469	80.3	560	15.3	107.8
		Ni 27	802	3.0	22.4	608	104.1	758	15.3	107.8
	H25/26	NiF 8	918	2.2	22.6	651		709	14.9	
		Ni 23	1,061	0.9	20.9	659	101.2	621	15.1	101.3
		Ni 27	875	1.8	25.3	717	110.1	819	15.1	101.3
株出	H27/28	NiF 8	854	1.6	24.1	715		837	15.6	
		Ni 23	795	7.0	22.1	672	94.0	845	15.4	98.7
		Ni 27	917	0.8	25.1	868	121.4	947	15.6	100.0
	H26/27	NiF 8	760	8.8	21.9	475		625	14.2	
		Ni 23	573	8.3	22.1	499	105.1	871	14.2	100.0
		Ni 27	767	5.2	25.5	459	96.6	598	15.0	105.6



九沖農研の資料より添付(写真)



九沖農研の資料より添付(写真)

編集後記  
春先の高温傾向で春植・株出の出芽が良く、生育期には適宜な降雨と日照があり、台風被害も殆ど無く、近年悩まされていた病害虫の被害も全体的には少ないと感じられた。一部の地域で台風による潮の害が出たが、折損被害が出るほどの台風は接近しませんでした。これほど気象条件に恵まれた年はあまり記憶に無く、今年は豊作だと思っていました。しかし、収穫が終わると平均単収は 5,614kg で、過去10年の中では、台風・干ばつ・病害虫被害で不作だった3年を除いては1番低い結果となりました。株出面積が6割以上となり収穫面積も増加しており、今後はどうやって平均単収を上げるかという事が一番大事な事だと思います。緑肥・堆肥を使用したり、心土破碎や転地返しを行ない土壌の再生をする事で、根が深く広く伸び吸収力が良くなり増収につながる結果となります。喜界島は過去に何度も平均単収 7t 越えを達成してきました。さとうきびと地球にやさしい農業で、再び 7t越え、8t越えを目指していきたいです。